ふるさと案内人だより

第13回ふるさと発見の旅　～春～
桜咲く大阪道を歩こう―山田・乾谷・柘榴の里―

山田川駅前での参加お礼挨拶

柘榴集落から観音山へ向かう

日出神社での案内風景

大川センター庭園前で記念写真

■ これからもふるさとを発見したい

「ふるさと案内人の会」 六山正喜

４月１０日（水）散策には絶好の天気で「ふるさと発見の旅」の本番を迎えました。シルバー人材センターの「ふるさと案内人の会」に１０回目から参加していて今回で４回目の発見の旅になります。

スタッフは朝９時に近鉄山田川駅前に集合し、簡単な打合せ、お客様の出迎え、受付、資料配布等それぞれ役割分担をして対応します。

参加者３７名を６グループに分けてスタッフが１名リーダーとなり担当します。

会長挨拶後ウオーミングアップで体をほぐし、行程を説明しいざ出発です。

今回は「桜咲く大阪道を歩こう」と題して山田川駅から乾谷、柘榴の大阪道沿いの神社、仏閣等を巡る約６km を歩くルートです。

コースは、山田川→神殿神社→普賢院→代官屋敷→大阪道道標→竜王神社→乾谷集落→大師堂→日出神社→東谷神社→極楽寺→観音山西国三十三所観音石仏→新谷の棚田→大川センター庭園です。

コース内の１５ヶ所をスタッフで分担して解説することになっていて、私の担当は「日出神社」でした。ここを選んだ理由は、以前童話の「約束を守った狐」を紙芝居にした時、その中に登場したのが日出神社、極楽寺だったからですが、順番が近づくにつれドキドキします。極楽寺では住職さんに話をして頂きました。

今回は満開の桜とは時期がややずれてしまいタイトルどおりにはいきませんでしたが全員が無事に行程を終えることが出来ました。

毎回説明箇所を決めて自分なりに勉強して、自分の言葉で手作りの味を出すようにお互いに指導を受けながら解説資料を作っています。これからも「ふるさと案内」を通じて、ふるさとを発見したいと思います。